

研究機関名：仙台医療センター

<p>受付番号：</p>
<p><b>【研究課題名】</b> 心不全患者におけるリハビリテーションアウトカムに影響を及ぼす因子の検討 －栄養状態と嚥下機能が退院時の ADL に与える影響について－</p>
<p><b>【研究期間】</b> 西暦 2021 年 4 月 (倫理委員会承認後) ～ 2026 年 3 月</p>
<p><b>【研究の対象】</b> 2016 年以降に心不全の診断で当院へ入院し、心臓リハビリテーションを実施した患者</p>
<p><b>【研究の目的・方法】</b> 目的：栄養状態と嚥下機能が心不全患者の退院時ADLに与える影響を明らかにすること。 方法：カルテより入院時と退院時の身体機能や栄養状態、嚥下機能を抽出する。栄養状態と嚥下機能で複数の群に分け単変量解析を実施する。また、多重比較検定や多変量解析にて、心不全患者の退院時ADLの関連因子の分析を行う。</p>
<p><b>【研究に用いる試料・情報の種類】</b> 通常診療の範囲で行われている検査データや患者情報。</p>
<p><b>【外部への試料・情報の提供】</b> 外部への試料・情報の提供なし。</p>
<p><b>【試料・情報を利用する者の範囲】</b> 国立病院機構仙台医療センター リハビリテーション科 千葉 雄陽 国立病院機構仙台医療センター リハビリテーション科 高橋 蓮 国立病院機構仙台医療センター 臨床研究部客員研究員 横田 純一 (弘前大学大学院保健学研究科)</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b> 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。 また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。 その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>仙台医療センター リハビリテーション科 千葉 雄陽 (代表研究者) 〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野 2-11-12 TEL: - - FAX: - -</p>